

# 小渕沖繩教育研究プログラムについて、ダニエル・知念さんにインタビュー！

[東西センターリエゾンオフィス]  
2023.01.10



ダニエル・知念さん

今回ご紹介するダニエル・知念さんは、琉球大学内に設置された東西センターリエゾンオフィス※の職員で、小渕沖繩教育研究プログラム（以下「小渕プログラム」）の運営にも関わっています。

なお、東西センターは国際的な研究機関として、様々な教育プログラムを提供しており、特に、平成12年に日米両政府合意のもと設立された小渕プログラムでは、沖縄県から多くの学生や研究者等がハワイ大学大学院と東西センターで学んできました。

では、ダニエル・知念さんへインタビューしたいと思います！

※平成28年（2016年）10月17日に、「琉球大学」と米国ハワイ州にある国際的研究機関「東西センター」との間で締結された覚書によって、双方のリエゾンオフィスが琉球大学及び東西センターに設置されました。

## 01. 出身地はどちらですか？

私は米国ハワイ州オアフ島出身です。ハワイの首都ホノルル市のダイヤモンドヘッドとワイキ

キの近くにあるカイムキと呼ばれる地域で育ちました。

## 02. 趣味はありますか？

アウトドアが好きで、特にハイキング、サイクリングやゴルフを楽しんでいます。他にも、旅行やウクレレをひくことも好きです。

## 03. 大学・大学院での専攻科目は？

専攻科目は電気工学科です。大学はハワイ大学マノア校（UHM）、大学院はアリゾナ州立大学で学びました。アメリカでは、大学院を選ぶ際は、在籍していた大学とは別の大学院を選択することが多いです。これは、新しい人との出会いや新しい環境に身を置くことができるなど、多くのメリットがあります。

## 04. 沖縄に住むきっかけは？

私は2007年から1年間、琉球大学の客員研究員として沖縄に滞在していましたが、私自身もっと沖縄のことを知りたいと思い、滞在を1年延ばすことにしました。温かく親切な沖縄の人たちと過ごす中で、1年だけでは足りないと感じ、沖縄滞在を更に延長しました。この美しい島で学べるすべての事に感謝しており、新しい言葉、場所、人に出会えてワクワクしています！

## 05. 好きな言葉は何ですか？

沖縄からハワイに移住した私の祖父がよく言っていた、「旅をしなければ無学である」という言葉です。この言葉には、人が旅をして、日々過ごしている快適な環境から一歩踏み出すことで、自分の世界が広がる可能性がある、という意味があります。旅は人生観を広げてくれます。私はこれまで世界20ヶ国を訪れました。ニューヨークの近くに住んでいた時も、格安旅行券を利用してヨーロッパに何度か旅行しました。私の好きな国は、1990年代後半のチェコ共和国です。古き良き時代の魅力とご当地の美味しい食べ物がいっぱいの国でした。他にも東南アジア、オーストラリア、ニュージーランドなどまだまだ行きたいところがあります。

## 06. 東西センターと関わりを持ったきっかけは？

ハワイに住んでいる時から「世界ウチナーンチュ・ビジネス・ネットワーク会議 (WUB) ※」の活動に関わっていました。また、その頃から、東西センターの協力のもと、小渕奨学生をサポートもしていました。2007年に沖縄に移住してからも、小渕奨学生のサポートや東西センターのイベントに関わったりするなどして、東西センターのサポートを続け、最終的には東西センターの正式スタッフとなり、琉球大学内の東西センターリエゾンオフィスの立ち上げに貢献しました。

※沖縄をルーツに持つ人々から構成されている団体

## 小渕沖縄教育研究プログラム」について



東西センターリエゾン・オフィス (入口)  
琉球大学内

## 07. 東西センターリエゾンオフィスの小渕プログラムに係る役割を教えてください。

同リエゾンオフィスは、沖縄県庁や小渕プログラム応募者と東西センターを繋ぐ役割で、主に

コミュニケーション支援などを行っています。また、同プログラムに選ばれた学生がハワイへ渡航するための準備 (ビザ申請、EWCとの連絡等) のサポートもしています。

## 08. 小渕プログラムを活用して留学するメリットは何でしょうか。

一番のメリットは米国の大学院の学位が無料で取得できること、そして、卒業後は東西センター同窓会ファミリーの一員になれるということだと思います。また、留学した学生は、英語力が飛躍的に向上し、自己主張が出来るようになることで、自信をつけて帰国しています。更に、他国からの留学生たちとの繋がりを築くこともできますので、将来のキャリアパス(仕事や職位を積む道)にもつながるコミュニティを築くことができます。

## 09. これまでの奨学生の特徴・強みは何だと思いますか？

一番大切な事は、「学ぶこと」対して強い熱意がある事だと思います。

他にも、①英語で自由にコミュニケーションをとることができる、②新しい環境に適應する能力がある、③留学先で外国人と仲良くなれる、④他国の異なる文化や価値観が理解できる、等の特徴があると感じます。

## 10. 最後に、これから小渕プログラムに応募する方へ激励の一言をお願いします！

優等生である必要はありません！

最も必要なのは、学びたいという意欲、そして、異なる文化や考え方を受け入れようとする姿勢です。是非、このプログラムを通して、海外で活躍している多くの方々に出会ってみてください！

ダニエル・チネンさんの連絡先：

メールアドレス ChinenD@EastWestCenter.org